

【総括】

保護者は1項目を除き、生徒はすべての質問項目で肯定的回答が否定的回答を上回った。また、学校に対する総体的印象を聞く質問である「子どもは学校に行くのを楽しみにしている（保護者）」は86.4%、「桜塚高校は楽しい（生徒）」は88.5%、「学校での生活に満足している（生徒）」は77.2%といずれも高い値を維持した。

【学習指導】

- ・「授業はわかりやすい（生徒）」が59.2%、「授業は学力向上に役立っている（生徒）」が67.2%、「子どもは授業がわかりやすいと言っている（保護者）」が55%で、授業満足度は昨年、一昨年に比べ、下がって来ている。わかりやすい授業のために何が必要か、さらに検討をしてゆく必要がある。
- ・今年度も5月と11月を「授業改善月間」と称し、教員による相互授業見学や研究授業を行ったが、「他の先生が授業を見学に来ることがある（生徒）」は73.2%で、昨年、一昨年に比べ、肯定的回答が減った。
- ・「授業などで情報ICT機器を活用している（教職員）」は86.7%、「授業でコンピューターやプロジェクターを活用している（生徒）」は89.7%であった。ICT機器の活用に不慣れな教員もいるので、教員同士の教えあいを進め、全ての教員がICT機器の活用に習熟するようしていく必要がある。

【生徒指導】

- ・「生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている（生徒）」の肯定的回答は68.8%であり、「先生は協力して生徒指導にあたっている（生徒）」の肯定的回答は72.6%であった。生徒はおおむね本校教員の生徒指導を好意的に受け入れているといえる。「桜塚高校の生徒指導の方針には共感できる（保護者）」は79.7%で、本校の生徒指導は保護者にもおおむね理解を得ている。

【進路指導】

- ・「将来の進路や生き方について考える機会がある（生徒）」は78.1%、「桜塚高校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている（保護者）」が76%であった。大学受験だけでなく、その先の人生も含めた「キャリア教育」の指導を充実させる必要がある。

【自治活動】

- ・「部活動に積極的に取り組んでいる（生徒）」78.7%、「学校行事は楽しく行えるよう工夫されている（生徒）」79.9%、「部活動は活発だと思う（保護者）」86.9%、「子どもの興味関心意欲を引き出す行事が行われている（保護者）」91.9%で、部活動や学校行事に対する生徒、保護者の評価は高い。

【施設設備】

- ・「校舎や体育施設は整備されている（生徒）」67%、「施設設備は満足できる（保護者）」46.7%で特に保護者の満足度が低い。

【地域連携等】

- ・豊中市や岡町商店街との各種連携事業や東日本大震災の被災地支援ボランティアで始まった岩手県立大槌高等学校との交流について、肯定的評価は生徒62%、保護者84.5%、教職員89.9%であった。生徒の意識と保護者、教職員の意識に差がある。生徒の意識を高めるような取り組みを考えてゆく必要がある。
- ・国際交流については「留学生や国際交流等を通じ、国際理解について学ぶ機会がある（生徒）」が82.4%と一昨年度の67.3%に比べ、肯定的評価が高くなった。

【情報提供】

- ・「桜塚高校は、進路に関する情報提供に努力している（保護者）」は76.2%、「桜塚高校の『ケータイ連絡網』によるメール発信を知っている」は76.7%、「教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている（教職員）」は88.3%であった。概ね適切に情報提供を行っていると評価されたが、進路の情報提供の頻度や方法についてはさらなる工夫が必要である。

【学校運営】

- ・「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」が85%、「学校内で他の教員の授業を見学する機会がある」が95%であり、教職員は協働して業務を進めている。
- ・「PDCAサイクルによる学校経営を推進している」は69.5%、「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている」は66.6%であり、まだ十分とはいえないが、以前よりは改善されている。
- ・「教職員の服務規律への自覚が高い」は93.3%であり、服務規律に対する意識は高いといえる。